

お元気ですか？

ogenkidesuka



梅雨あけの猛暑に注意!!

熱中症とは

夏に流行する小児の感染症

シリーズ職場紹介...4B病棟



地域医療連携だより

- 公立七日市病院工事中のお知らせ
- 『がん相談支援センター』のご紹介

かぶらウォーターランド

平成7年度に圏域住民の健全なレクリエーションの場を作り住民の健康及び福祉の増進を図るために富岡甘楽衛生施設組合が設置したプール施設です。管理運営は、平成25年度から平成29年度まで指定管理者の日本水泳振興会が行っています。

発行

富岡地域医療事務組合

公立富岡総合病院

〒370-2393 群馬県富岡市富岡2073-1

☎ 0274-63-2111 📠 0274-64-1406

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp

🌐 <http://www7.wind.ne.jp/tomihp/>

梅雨あけの猛暑に注意!!

熱中症とは

公立富岡総合病院内科 石塚隆雄



熱中症は暑い環境の中で体温の調節ができなくなる状態のことです。

特に体の弱い人は暑いところは避けるようにしましょう。冷房や扇風機などを上手に使い、外に出るときは帽子をかぶるなどして直射日光にあたらないようにします。室内にいれば熱中症にならないのではと思いがちですが、室内でも暑くて湿度の高い場所では汗が出にくく熱中症になりやすいので注意しましょう。

汗が出るといのは熱くなって体温を下げようという体の防御反応です。汗が出たら水分と塩分をとるようにしましょう。水だけをがぶ飲みするのはいけません。塩分と一緒にとることが大切です。糖尿病の人

は甘いスポーツドリンクを取りすぎると血糖があがるので注意しましょう。

熱中症になると軽い頭痛がしたり、吐き気がしたりして気分が悪くなります。涼しい場所に避難して体をひやしなから水分を摂取しましょう。さらに脱水になると汗が出なくなり、体温が急になると汗が出なくなります。こうなると点滴による補液を行わないといけませんので、医療機関を受診するようにしましょう。

梅雨があけると再び猛暑がやってきます。気温が急に上がるときが特に危険ですので注意して生活してください。

熱中症対策



外に出るときは帽子をかぶりましょう。



室内では冷房や扇風機などを上手に使いましょう。



汗が出たら水分と塩分をとるようにしましょう。



夏に流行する 小児の感染症

公立富岡総合病院小児科

小須田貴史

① プール熱

いわゆる「プール熱」とは「咽頭結膜熱」のことで、原因はアデノウイルスによる感染です。感染経路は飛沫（空気）感染の他に、気道・眼球結膜の分泌物により汚染されたタオルや衣類などで接触感染します。夏にプールなどで感染し流行することから、「プール熱」と呼ばれていました。最近では季節に関係なく、またプール以外での感染も多いため「咽頭結膜熱」と呼ぶ方が適切です。潜伏期間は2〜14日で、症状は発熱、咽頭炎・結膜炎症状の他に、胃腸炎をきたすこともあります。また合併症として、まれに肺炎、髄膜炎、脳炎など重症化する例もあります。治療は対症療法（症状をやわらげる治療）のみで、経過は4〜5日で改善傾向になります。予防はタオルの区

別や手洗いを徹底です。なお登園登校の禁止は、「主要症状が消退した後2日を経過するまで」となっています。

② 手足口病

数日の潜伏期の後に、発熱とともに手掌、足底、口腔内（まれに膝や大腿、臀部）に小さな固い水疱ができる病気です。原因はコクサッキーウイルスA16とエンテロウイルス71で、感染経路は飛沫あるいは接触感染です。口の中が痛いため食欲がな

く、水分が取りにくくなりますが、数日の経過で改善します。根本的な治療はなく、高熱に対して解熱剤を使用したり、水分摂取ができず脱水になった時には輸液を行います。まれに髄膜炎や脳炎を合併しますので、吐いてぐったりする時には医療機関の受診が必要です。登園登校は本人の状態により判断してかまいません。

疾患です。原因はコクサッキーウイルスやエンテロウイルスにより、感染経路は飛沫あるいは接触感染です。おもに暑い季節に流行します。潜伏期間は2〜4日間で、急に高熱が出て喉の痛みのため食事が取りにくくなりますが、経過は3〜6日で、脱水に注意すれば経過は良好です。治療薬はなく対症療法のみです。登園登校は本人の状態により判断して可です。

④ 発熱時の対処

体温グラフをつけて、全身状態の観察をしましょう。湯冷まし、お茶、イオン飲料などの水分補給を行うと良いでしょう。また熱いところはアイスノンや冷却湿布で冷やしましょう。手足が冷たくなりガタガタして寒がる時（悪寒）は、着るものや布団を1枚多くするなど保温しましょう。食事は消化の良いお粥やうどんなどを与えます。解熱剤は病気の原因を治す薬ではなく無理に熱を下げる必要はありませんが、食欲がなくなつたらそうであれば使用してあげると良いでしょう。

③ ヘルパンギーナ

喉の奥が赤くなり、口蓋弓と呼ばれる場所に水疱ができる発熱性

子供の発熱時の対処

- ◆ 体温グラフをつけて、全身状態の観察
- ◆ 湯冷まし、お茶、イオン飲料などで水分補給
- ◆ 熱いところをアイスノンや冷却湿布で冷やす
- ◆ 寒がる時は、着るものや布団などで保温
- ◆ 食事は消化の良いものを
- ◆ 解熱剤は食欲なくなつた時に使用



4 B 病棟職場紹介

看護サブマネジャー

吉田純子

4 B 病棟は内科(呼吸器、消化器、内分泌の疾患)で45床を有する病棟です。

内科医師7名、消化器内科医師5名、薬剤師1名、看護スタッフ(助手3名含む)31名でチーム医療を行っています。今年は男性看護師が5名になり、力仕事に関してはしっかりと引き受けているので女性看護師はとても助かっており、スタッフ同士、明るく楽しく協力し合って日々看護を行っています。

患者年齢層は40歳から90歳代と幅広く、世相を反映し80歳から90歳の患者さんが常に20%を占めている状況です。そのため、環境の変化に伴い昼夜逆転となり夜間せん妄の状態になってしまいう患者さんが多くいます。その解決策として、患者さんの許可を得て車いすサービスセンターにみえていただ

き、脳の活性化を図るために塗り絵や、コミュニケーション、紙で作成したボール投げなどを行い夜間ゆっくり休めるような工夫を行っています。その結果3〜4日経過すると落ちつき眠れるようになっていきます。

また、看護ケアにおいて力を入れている事が2つあります。1つめは口腔の清潔ケアで、自分で歯磨きができない患者さんに対して毎食後の口腔内のブラッシングを行い、清潔を保つことで肺炎合併症が予防できています。2つめは人工呼吸器を装着した患者さんのシャワー浴も行っており、褥瘡予防もできています。

今後益々、高齢者が増加する中、退院後の日常生活に支障が起きないようメディカルソーシャルワーカーの力を借りながら地域連携の強化に努めていきたいと思えます。



地域医療連携だより

公立七日市病院は只今工事中、ご迷惑をおかけしております。

暑い季節がやってきました。テーションの環境が改善された。皆様、体調管理には十分気を付けてください。患者様により効果的なりハビリ訓練が提供できるようになりました。た病院で業務を開始できることになりました。

さて、公立七日市病院では、

新館2（北館）は、1階が富

また駐車場の不足等々で、患者様はじめ御家族の皆様にご迷惑をお掛けしており、誠に申し訳ありません。リニューアル後の七日市病院は、病床を

平成23・24・25年度の3カ年かけて増改築工事を行っております。現在は、新館2（北館）の建築、電気、給排水設備工事を行っており、これが完成し、その後、既存棟（本館）の改修工事及び駐車場等の舗装工事が修了すると工事全体の完成となります。

岡地域訪問看護ステーション、療養通所介護室、一部が更衣室などとなっています。2階は、院長室、副院長室、医局・研究室、看護部長室などの管理部門と、院内デイケア及びデイルームとなっています。3階は、職員ラウンジ、講義室、会議室、図書室、医局、リハビリストアッフールームなど職員が使用するスペースとなっています。既存部分とは渡り廊下で結ばれます。平成26年3月中に引越し作業等を行い、4月にはリニューアルし

境が改善され、サービスの向上が図れることとなります。今後とも地域から信頼され、必要とされる病院となるよう努力してまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。

完成後の七日市病院を紹介します。既存棟東に増築した新館1（東館）は1階が厨房室、器材倉庫、2階は病棟、3階はリハビリテーション（スタッフ室含む）となっております。3病棟の回復期リハビリ

3月中に引越し作業等を行い、4月にはリニューアルし

公立七日市病院

入山 功

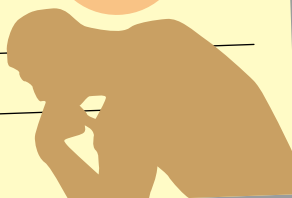


『がん相談支援センター』のご紹介

当院は『地域がん診療拠点病院』に指定されています。がんに関するさまざまな相談や情報提供を専門の看護師やソーシャルワーカーが対応しています。相談内容によっては、医師や薬剤師、栄養士、臨床心理士の専門家と連携を図っています。

- がんについて詳しいことや治療について知りたい。
- がんと言われて不安で頭がいつぱい。
- 治療や手術、入院費などお金のことが心配。
- 医療保険や社会福祉制度などの利用方法を知りたい。
- 転院や通院について相談したい。
- 転院や通院について相談したい。
セカンドオピニオンを受けたい。
- 退院後の生活について相談したい。
- 緩和ケアについて知りたい。
- …など

何でも
ご相談ください



相談受付時間 月曜日～金曜日(土日・祝祭日は除く)8時30分～17時15分

相談方法 直接来院していただくか、お電話にてお願いいたします。
※面談を希望される場合は、事前にご連絡を
いただくとお待たせいたしません。

相談料 無料

場所 がん相談支援センター(地域医療連携室)

連絡先 ☎ 0274-63-2111(代表)

✉ tomihp@mail.gunma.med.or.jp



がん患者会『お話しませんか?』

がんの治療を受けている患者さん同士でお話してみませんか?
これから治療開始する方も、また終了された方も気兼ねなく参加いただけます。
がん専門看護師が毎回参加し、参加者の相談に応じたり、日常生活のこと、
治療のことなど自由に話しあっています。ご家族の方とも一緒に参加していただけます。

【開催日】 毎月1回開催しています。

【次回開催日】 7月30日(火)、9月30日(月)

時間:午後1時30分より 場所:中央ラウンジ

今後の日程についてはがん相談支援センターまでお問い合わせください。

※事前の予約は必要ありませんので直接お越しください。